

令和6年2月16日

SDGsの取り組み 登山道整備の状況報告

議題3. (3) で実際に話し合った内容

★登山道整備の趣旨

愛知の130山で紹介されている登山対象の山を愛知の宝物ととらえ、体に触れる程度の杖に限って切り取る活動を、冬場のトレーニングを兼ね持続可能な活動として登山道の維持・整備に取り組む。

★登山道整備の予定

冬場のトレーニングを兼ねた活動なのでR6.4月頃まで。(ヒルが活動期突入のため)
R6.10月か11月頃から再開予定です。

★状況報告 別紙資料あり

R5.11月～12月…計6日 22山 40名

R6.1月 …計4日 8山 60名

R6.2月16日現在 1日 2山 8名

○ コロナ以前に登った「碁盤石山」、「三国山」はゴソゴソな笹をかき分けて登った記憶があったのに、今回登ると見事に刈り払われていた！これには驚いた。

何故か？考えられること→→

- ・ コロナ禍の中、登山は密を避けられるスポーツとして話題になり人気になった。
- ・ 様々な自治体の行事が中止になり、予算が余ったのか？
- ・ 結果、コロナのおかげで登山道がきれいになったのか？とってしまった。

○ 以前踏破した時、このまま放置しておけば130山のうち3分の1は、そのうち歩けなくなるのでは…と予想できたのでこの活動を提案したのだが、心配とは正反対の結果。嬉しい。もちろん以前と変わらない山もある。

○ 1月に登った「鍵掛山」は林道入り口が、三遠南信道工事のため封鎖状態。新しく登山道が開かれている所は踏み跡が薄く迷いやすい為、赤テープを付けて前進。

「鉛山」は枝が激しくはびこっていて剪定に時間をかけた。冬場は道路工事も多く、その為大きく迂回することになり予定が遅れて1日2山しか整備できなかった。

○1月に登った尾張三山の登山道は良好なのでゴミ拾いをした。

○2月に登った「寧比曾岳」「出来山」の間は、ヤママップにないルートをGPSを頼りに1.5時間歩く。「GPSさえあればコースから外れずに行けるんだ」という感覚を参加者が体験することができた。

○他の団体にも参加を促し一緒にやりましょう。

- ・ 一緒に活動をやりながら全山踏破を目指す目標設定もいいのでは。
- ・ 愛知県の山里の魅力に気づいてもらい、登山者が増えれば登山道も維持されていくはず。

- ・1月後半からは、他の団体も一緒に参加 → 徐々にすそ野が広がりつつある。
- ・今では、単独で他の団体が出掛けた登山活動もあり報告を受けている。

一層登山道整備がすすむ→期待大。

- 今後の登山活動の予定を岳連のHPに掲載して広く募集し、一般の人も興味を持ってくると良いな。また、企業から協賛・支援など何か大きな取り組みになっていくとよりやりがい、楽しみがあるのではないかな。

★今後の登山道整備

山行予定は別紙資料の通りです。(エクセルファイル印刷配布)

是非、参加をお願いします。

★参加者の感想・意見

- ・素晴らしい取り組みなので時間があれば是非参加したい。
- ・愛知の130山・時が経てば自然と忘れられていく山ができるのは寂しいです。
- ・以前60山ラリーをした時、行きづらい、登れなかった山もいくつかあった。それを考えると、この活動をしていくのは良いことです。
- ・参加したことがないので参加したい。→山の楽しみを見つけるのも登山道整備のなかで味わえます。是非参加して下さいね

★星さん(副会長)より

- 私たちは自然保護指導員なので「自然がどう変わったのか、なぜそうなったのかを知ること大切」
 - ・役場に行くなどして、山をよく知っている人、その地域をよく知っている人を尋ねよう。
 - ・愛知の山が歴史的に変化した事、今変わっている事、注意事項も含めて地元の人に聞かないとわからないこともある。聞いたことを交えながら活動すると楽しいよ。そして、「愛知の山はこうなんだあ」と知識として取り入れ、会に持ち帰り、山行に役立ててもらえれば嬉しいです。
- 昔はボランティアの人が道を守りたいという思いで活動していたが、今はそうではない。70・80代の高齢者の人では限界があります。
- 動物によって土が掘り起こされたり、ササが70年に一度枯れてしまうなどの自然現象も含め、今自然に起こっていること、人間がやったこと、自然がやったこと…など、いろいろ分類していくと自然との関わり方がみえてくるはず。
昔登った山と現在の山がどう変わったか?を含め、愛知の130山で勉強したい。